

2024 年 12 月 19 日

各 位

株式会社 鳥取銀行

地域エネルギー事業会社「株式会社スマートエネルギーとっとり」の設立について

株式会社鳥取銀行（頭取 入江 到）は、鳥取市（市長 深澤 義彦）、ダイヤモンド電機株式会社（代表取締役社長 小野 有理）、株式会社城洋（代表取締役 角田 城治）、株式会社市民エネルギーとっとり（代表取締役 手塚 智子）との5者での共同出資により、令和6年12月19日に株式会社スマートエネルギーとっとり（以下、「SE とっとり」という。）を設立いたしました。

鳥取市は、令和5年4月に環境省の「脱炭素先行地域」に選定され、2030年度までに電力使用に伴うカーボンニュートラルと地方創生を同時に実現するため、若葉台地域と佐治町において、地域脱炭素の様々な取り組みを進めています。

鳥取市脱炭素先行地域の核となる事業として、戸建住宅へ太陽光発電設備・蓄電池を導入し、高度なエネルギーマネジメント技術で蓄電池などを制御し、効率的に需給調整することで再生可能エネルギーの地産地消を一層推進する先進的な取り組みを展開していくこととしており、これら事業を加速していくため、鳥取市と技術・知見を有する企業による共同出資のもと、地域エネルギー事業会社 SE ととつりを設立しました。

当行は、脱炭素先行地域の取組をサポートしていくとともに、地域課題の解決と地域価値の最大化を図ることで、安全・安心に暮らし続けられるまちの実現に貢献してまいります。

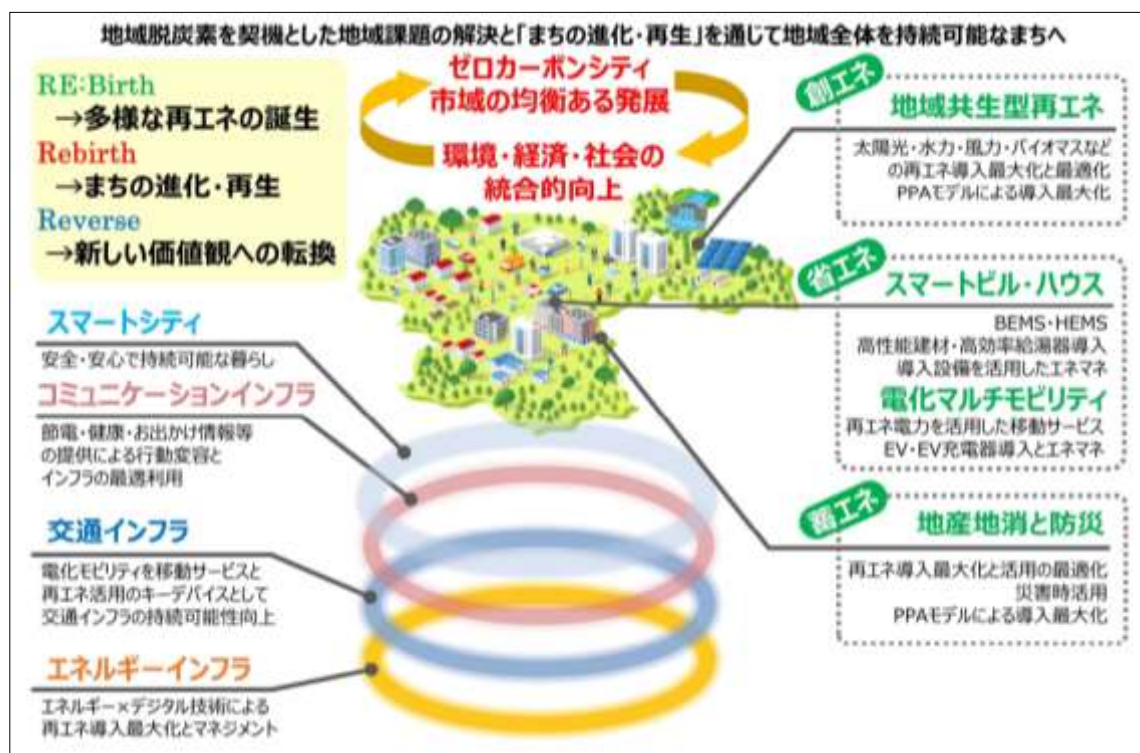
記

1. 「株式会社スマートエネルギーとっとり」について

会社名	株式会社スマートエネルギーとっとり	
所在地	鳥取市若葉台南二丁目 16 番 1 号（若葉台地区公民館内）	
代表者	深澤 義彦（鳥取市長）	
資本金	4,000 万円	
出資者	鳥取市	1,880 万円（47.0%）
	ダイヤモンド電機株式会社	860 万円（21.5%）
	株式会社城洋	860 万円（21.5%）
	株式会社市民エネルギーとっとり	200 万円（5.0%）
	株式会社鳥取銀行	200 万円（5.0%）
設立日	令和6年12月19日	
事業開始	令和7年1月	
事業目的	地域共生型再エネの導入などを通じて、2030年度までに鳥取市脱炭素先行地域計画を実現することはもとより、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けた道筋を付け、地域経済循環の活性化、地域の課題解決・進化再生、災害耐性の向上など安全・安心に住み続けられる持続可能なまちづくりにつなげる。	
主な事業内容	①住宅用電力サービス事業（住宅用 PPA 等） ②業務用電力サービス事業（事業所、公共施設 PPA） ③太陽光発電事業 ④VPP・EMS サービス事業	

【ご参考】鳥取市における脱炭素先行地域づくり事業について

名称	RE:Birth（再エネ創出）で進める地域脱炭素と地域の Rebirth（進化・再生）
選定日	2023 年 4 月 28 日
事業概要	郊外のニュータウンである若葉台エリアと過疎化が進む中山間地域の佐治町エリアにおいて、多様な再エネ電力を活用しながら、自営線マイクログリッドや分散型エネルギー設備の最大導入と群制御技術を活用した VPP を導入し、地域の再エネ由来電力を最大限活用して脱炭素化を実現。「多極ネットワーク型コンパクトシティ」における地域生活拠点に位置づけられる両エリアにおいて、貨客混載や生活交通を同時活用した交通ネットワークの構築を進めるとともに、地域の未利用森林資源の活用による林業振興や農業振興につなげ、中山間地域の再生・持続モデルを構築する



出展：鳥取市

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
企画開発部（田中）・経営統括部（片寄）
TEL 0857-37-0290・0260